

模擬投票で 選挙に理解

大野東高生

県明るい選挙推進協議会
会は26日、大野東高で「明るい選挙出前塾」を開いた。3年生約120人が講義と模擬投票で選挙への理解を深めた。写真。

将来有権者となる若い世代に、選挙や政治に関心を持ってもらうことと同協議会が各地の中学、高校で開いている。

同会の中村保之会長が



選挙の仕組みや大切さを説明。「選挙権は簡単に放り出すことのできない権利。大人になったときは、国民としての責任をきちんと果たして」と呼び掛けた。この後、生徒たちは選挙で使われている用紙や記載台、箱を使って実際に各クラスの同窓会役員を選ぶ選挙を実施。投票の流れを体験した。